



THE NEW VALUE FRONTIER

2019年2月1日

2019年3月期第3四半期 決算カンファレンスコール

代表取締役社長
谷本 秀夫

京セラ株式会社

1. 2019年3月期第3四半期 決算概要

(注) 2019年3月期より国際財務報告基準（IFRS）を適用しています。この変更に伴い、当資料に記載の2018年3月期の経営成績についても米国会計基準からIFRSに組み替えて表示しています。

2019年3月期第3四半期累計 決算概要

－ 前年同期比 －

(単位：百万円)

	2018年3月期 第3四半期累計		2019年3月期 第3四半期累計		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
売上高	1,145,016	100.0%	1,214,417	100.0%	69,401	6.1%
営業利益	108,322	9.5%	60,576	5.0%	-47,746	-44.1%
税引前利益	147,262	12.9%	104,100	8.6%	-43,162	-29.3%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	93,088	8.1%	79,419	6.5%	-13,669	-14.7%
設備投資額	59,054	5.2%	85,109	7.0%	26,055	44.1%
減価償却費	49,271	4.3%	38,019	3.1%	-11,252	-22.8%
研究開発費	42,350	3.7%	52,516	4.3%	10,166	24.0%
平均為替レート	ドル	112円	111円			
	ユーロ	129円	129円			

(ご参考) 2019年3月期第3四半期累計 為替変動による影響額 (前年同期比) : 売上高 約 -30億円、税引前利益への影響はほぼなし

➤ 売上高は第3四半期累計で過去最高を更新

➤ 利益は約685億円の損失計上を主因に減益：

- ・ソーラーエネルギー事業でのポリシリコン原材料に関する長期購入契約の和解費用等 約523億円
- ・有機材料事業での有形固定資産及びのれんの減損損失 約162億円

2019年3月期第3四半期累計 事業セグメント別売上高 － 前年同期比 －

(単位：百万円)

	2018年3月期 第3四半期累計		2019年3月期 第3四半期累計		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
産業・自動車用部品	205,456	18.0%	238,394	19.6%	32,938	16.0%
半導体関連部品	196,226	17.1%	193,507	16.0%	-2,719	-1.4%
電子デバイス	223,451	19.5%	278,091	22.9%	54,640	24.5%
部品事業 計	625,133	54.6%	709,992	58.5%	84,859	13.6%
コミュニケーション	181,321	15.8%	180,632	14.9%	-689	-0.4%
ドキュメントソリューション	266,902	23.3%	273,835	22.5%	6,933	2.6%
生活・環境	79,747	7.0%	58,512	4.8%	-21,235	-26.6%
機器・システム事業 計	527,970	46.1%	512,979	42.2%	-14,991	-2.8%
その他	14,068	1.2%	13,355	1.1%	-713	-5.1%
調整及び消去	-22,155	-1.9%	-21,909	-1.8%	246	－
売上高	1,145,016	100.0%	1,214,417	100.0%	69,401	6.1%

2019年3月期第3四半期累計 事業セグメント別利益 － 前年同期比 －

(単位：百万円)

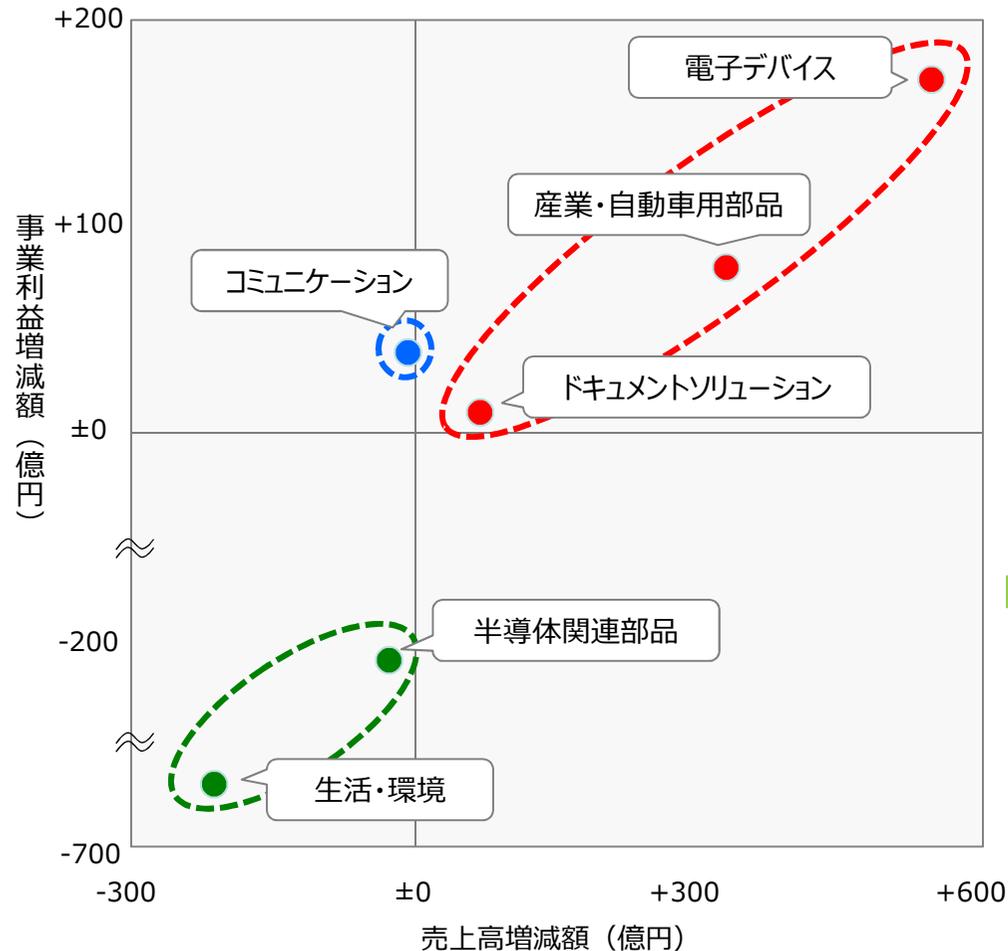
	2018年3月期 第3四半期累計		2019年3月期 第3四半期累計		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
産業・自動車用部品	23,223	11.3%	31,213	13.1%	7,990	34.4%
半導体関連部品	26,191	13.3%	※1 4,836	2.5%	-21,355	-81.5%
電子デバイス	35,835	16.0%	52,920	19.0%	17,085	47.7%
部品事業 計	85,249	13.6%	88,969	12.5%	3,720	4.4%
コミュニケーション	1,822	1.0%	5,677	3.1%	3,855	211.6%
ドキュメントソリューション	29,088	10.9%	30,081	11.0%	993	3.4%
生活・環境	-2,597	－	※2 -63,894	－	-61,297	－
機器・システム事業 計	28,313	5.4%	-28,136	－	-56,449	－
その他	922	6.6%	1,564	11.7%	642	69.6%
事業利益 計	114,484	10.0%	62,397	5.1%	-52,087	-45.5%
本社部門損益等	32,778	－	41,703	－	8,925	27.2%
税引前利益	147,262	12.9%	104,100	8.6%	-43,162	-29.3%

※1 有機材料事業において、有形固定資産及びのれんの減損損失 約162億円を計上。

※2 ソーラーエネルギー事業において、ポリシリコン原材料に関する長期購入契約の和解費用等 約523億円を計上。

2019年3月期第3四半期累計 前年同期比増減要因

2019年3月期第3四半期累計
売上高・事業利益の前年同期比増減額



1. 好調部門への積極投資が貢献

- 需要増への積極的な増産対応
- 前期より実施してきたM&Aの貢献

2. 低採算製品の縮小による収益改善

- 通信機器事業の損失が縮小

3. 一時的な損失計上

➤ 将来に向けて課題事業の採算改善を図る

- 有機材料事業（半導体関連部品）：
生産設備及びのれんの減損損失を計上
- ソーラーエネルギー事業（生活・環境）：
ポリシリコン原材料に関する長期購入契約の和解等

2019年3月期第3四半期（3ヵ月） 決算概要

－ 前四半期比 －

（単位：百万円）

	2019年3月期				増減	
	第2四半期		第3四半期			
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
売上高	413,154	100.0%	413,779	100.0%	625	0.2%
営業利益	45,497	11.0%	-22,025	－	-67,522	－
税引前利益	50,201	12.2%	-1,589	－	-51,790	－
親会社の所有者に帰属する四半期利益	36,110	8.7%	1,025	0.2%	-35,085	-97.2%
設備投資額	27,171	6.6%	28,088	6.8%	917	3.4%
減価償却費	12,592	3.0%	13,724	3.3%	1,132	9.0%
研究開発費	18,543	4.5%	17,260	4.2%	-1,283	-6.9%
平均為替レート	ドル	111円	113円			
	ユーロ	130円	129円			

（ご参考）2019年3月期第3四半期（3ヵ月）為替変動による影響額（前四半期比）：
 売上高 約 +20億円
 税引前利益 約 +5億円

2019年3月期第3四半期（3ヵ月） 事業セグメント別売上高 － 前四半期比 －

（単位：百万円）

	2019年3月期				増減	
	第2四半期		第3四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
産業・自動車用部品	78,851	19.1%	77,587	18.7%	-1,264	-1.6%
半導体関連部品	66,820	16.2%	66,038	16.0%	-782	-1.2%
電子デバイス	95,519	23.1%	94,288	22.8%	-1,231	-1.3%
部品事業 計	241,190	58.4%	237,913	57.5%	-3,277	-1.4%
コミュニケーション	63,261	15.3%	65,761	15.9%	2,500	4.0%
ドキュメントソリューション	89,973	21.8%	95,066	22.9%	5,093	5.7%
生活・環境	22,113	5.3%	17,707	4.3%	-4,406	-19.9%
機器・システム事業 計	175,347	42.4%	178,534	43.1%	3,187	1.8%
その他	4,400	1.1%	4,023	1.0%	-377	-8.6%
調整及び消去	-7,783	-1.9%	-6,691	-1.6%	1,092	－
売上高	413,154	100.0%	413,779	100.0%	625	0.2%

2019年3月期第3四半期（3ヵ月） 事業セグメント別利益

－ 前四半期比 －

（単位：百万円）

	2019年3月期				増減	
	第2四半期		第3四半期			
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
産業・自動車用部品	10,834	13.7%	9,963	12.8%	-871	-8.0%
半導体関連部品	7,311	10.9%	※1 -8,321	—	-15,632	—
電子デバイス	19,420	20.3%	19,103	20.3%	-317	-1.6%
部品事業 計	37,565	15.6%	20,745	8.7%	-16,820	-44.8%
コミュニケーション	2,897	4.6%	5,021	7.6%	2,124	73.3%
ドキュメントソリューション	9,630	10.7%	10,103	10.6%	473	4.9%
生活・環境	-3,383	—	※2 -57,496	—	-54,113	—
機器・システム事業 計	9,144	5.2%	-42,372	—	-51,516	—
その他	350	8.0%	597	14.8%	247	70.6%
事業利益 計	47,059	11.4%	-21,030	—	-68,089	—
本社部門損益等	3,142	—	19,441	—	16,299	518.7%
税引前利益	50,201	12.2%	-1,589	—	-51,790	—

※1 有機材料事業において、有形固定資産及びのれんの減損損失 約162億円を計上。

※2 ソーラーエネルギー事業において、ポリシリコン原材料に関する長期購入契約の和解費用等 約523億円を計上。

2. 2019年3月期通期 業績予想

2019年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2018年3月期 実績		2019年3月期 予想				増減金額 (増減率)	
			前回予想 (11月公表)		今回予想		前期比	前回予想比
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比		
売上高	1,577,039	100.0%	1,650,000	100.0%	1,600,000	100.0%	22,961 (1.5%)	-50,000 (-3.0%)
営業利益	90,699	5.8%	99,000	6.0%	76,000	4.8%	-14,699 (-16.2%)	-23,000 (-23.2%)
税引前利益	129,992	8.2%	135,000	8.2%	120,000	7.5%	-9,992 (-7.7%)	-15,000 (-11.1%)
親会社の所有者に帰属する当期利益	79,137	5.0%	95,500	5.8%	90,000	5.6%	10,863 (13.7%)	-5,500 (-5.8%)
EPS (円)	215.22	-	263.32	-	※1 248.36	-	33.14	-14.96
設備投資額	86,519	5.5%	110,000	6.7%	110,000	6.9%	23,481	0
減価償却費	69,703	4.4%	65,000	3.9%	55,000	3.4%	-14,703	-10,000
研究開発費	58,273	3.7%	70,000	4.2%	70,000	4.4%	11,727	0
平均為替レート	ドル	111円	105円	110円				
	ユーロ	130円	130円	128円				

(ご参考) 2019年3月期通期予想 為替変動による影響額 (前期比) : 売上高 約 -105億円
 税引前利益 約 -30億円

※1 : 2019年3月期予想のEPSは、2019年3月期第3四半期累計の期中平均株式数を用いて算出しています。

2019年3月期 事業セグメント別売上高予想

(単位：百万円)

	2018年3月期 実績		2019年3月期 予想				増減金額	
			前回予想 (11月公表)		今回予想			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期比	前回予想比
産業・自動車用部品	287,620	18.2%	320,000	19.4%	313,000	19.6%	25,380	-7,000
半導体関連部品	257,237	16.3%	250,000	15.1%	240,000	15.0%	-17,237	-10,000
電子デバイス	305,145	19.4%	376,000	22.8%	364,000	22.7%	58,855	-12,000
部品事業 計	850,002	53.9%	946,000	57.3%	917,000	57.3%	66,998	-29,000
コミュニケーション	255,535	16.2%	245,000	14.9%	250,000	15.6%	-5,535	5,000
ドキュメントソリューション	371,058	23.5%	385,000	23.3%	375,000	23.5%	3,942	-10,000
生活・環境	112,212	7.1%	84,000	5.1%	69,000	4.3%	-43,212	-15,000
機器・システム事業 計	738,805	46.8%	714,000	43.3%	694,000	43.4%	-44,805	-20,000
その他	18,827	1.2%	17,000	1.0%	17,000	1.1%	-1,827	0
調整及び消去	-30,595	-1.9%	-27,000	-1.6%	-28,000	-1.8%	2,595	-1,000
売上高	1,577,039	100.0%	1,650,000	100.0%	1,600,000	100.0%	22,961	-50,000

2019年3月期 事業セグメント別利益予想

(単位：百万円)

	2018年3月期 実績		2019年3月期 予想				増減金額	
			前回予想 (11月公表)		今回予想			
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比	前回予想比
産業・自動車用部品	31,400	10.9%	39,000	12.2%	38,000	12.1%	6,600	-1,000
半導体関連部品	31,049	12.1%	27,000	10.8%	※3 6,000	2.5%	-25,049	-21,000
電子デバイス	46,632	15.3%	62,500	16.6%	65,000	17.9%	18,368	2,500
部品事業 計	109,081	12.8%	128,500	13.6%	109,000	11.9%	-81	-19,500
コミュニケーション	4,440	1.7%	5,200	2.1%	8,000	3.2%	3,560	2,800
ドキュメントソリューション	40,851	11.0%	41,500	10.8%	38,000	10.1%	-2,851	-3,500
生活・環境	※1 -55,492	-	-72,000	-	※2 -72,000	-	-16,508	0
機器・システム事業 計	-10,201	-	-25,300	-	-26,000	-	-15,799	-700
その他	1,393	7.4%	0	0.0%	1,000	5.9%	-393	1,000
事業利益 計	100,273	6.4%	103,200	6.3%	84,000	5.3%	-16,273	-19,200
本社部門損益等	29,719	-	31,800	-	36,000	-	6,281	4,200
税引前利益	129,992	8.2%	135,000	8.2%	120,000	7.5%	-9,992	-15,000

※1 ソーラーエネルギー事業において、ポリシリコン原材料の長期購入契約等に関する引当損失 約502億円を計上。

※2 ソーラーエネルギー事業において、ポリシリコン原材料に関する長期購入契約の和解費用等 約523億円を計上。

※3 有機材料事業において、有形固定資産及びのれんの減損損失 約162億円を計上。

2019年3月期 業績予想修正の主な要因

1. 主要市場での需要減

部品事業

- スマートフォン市場：セラミックパッケージ、コンデンサ等の各種電子部品
- 産業機械市場：ファインセラミック部品等

機器・システム事業

- ドキュメントソリューション：欧米市場での販売減
- 生活・環境：ソーラーエネルギー事業の国内市場での売上減

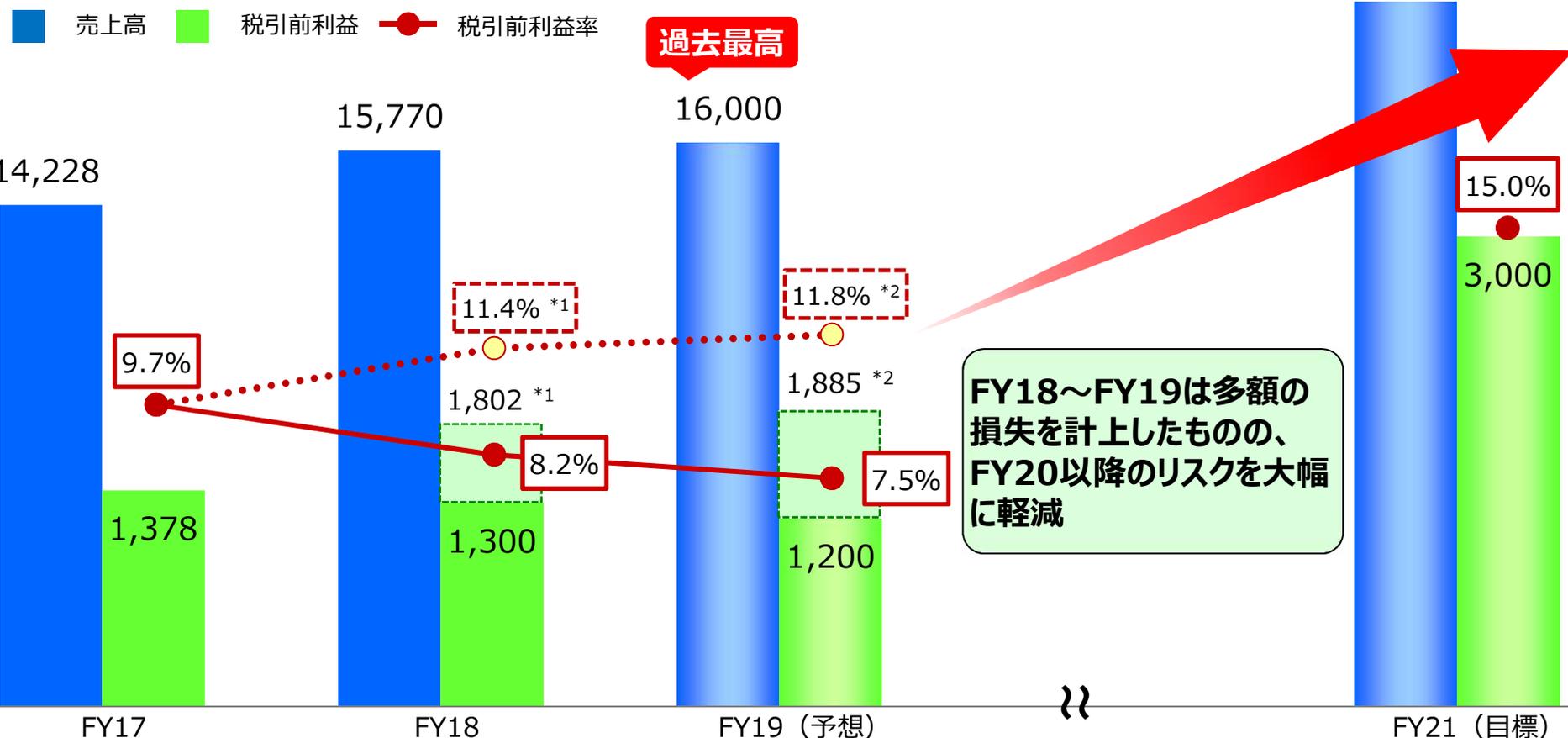
2. 半導体関連部品での減損損失の計上

有機材料事業：有形固定資産及びのれんの減損 約162億円

売上高及び税引前利益の推移

2期連続となる過去最高売上高の更新を目指す

(単位：億円)



将来の見通しに関する記述等について

この資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は下記を含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 当社の海外における売上に由来する収益の大半に影響を与える様々な輸出リスク
- (4) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (5) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (6) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (7) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (8) 電力不足や電力費の上昇が当社の生産活動及び販売活動に及ぼす影響
- (9) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (10) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (11) 科学技術分野等の優れた人材の確保が困難となる事態
- (12) サイバー攻撃等により当社の情報セキュリティが被害を受ける事態及びその復旧や維持に多額の費用が必要となるリスク
- (13) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (14) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (15) 環境規制の強化による環境に関わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (16) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (17) テロ行為、疾病の発生、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (18) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (19) 売掛債権の信用リスク
- (20) 当社が保有する有価証券やその他の資産の価値の変動及び減損処理
- (21) 当社の有形固定資産、のれん並びに無形資産の減損処理
- (22) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (23) 会計基準の変更

上記のリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、将来の見通しに明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。